

平成29年第1回臨時会

企画産業常任委員会
会 議 録

期日：平成29年4月19日（水）

場所：互助会館3階 第1会議室

大仙市議会企画産業常任委員会会議録

日 時 平成29年4月19日（水曜日） 午前10時47分 ～ 午前11時02分

会 場 互助会館3階 第1会議室

出席議員（7人）

2番 秩父博樹	4番 佐藤隆盛	5番 後藤健
11番 高橋徳久	12番 橋村誠	19番 渡邊秀俊
23番 金谷道男		

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

企画部長 五十嵐秀美	次長兼まちづくり課長 高橋正人
まちづくり課参事 田口美和子	

議会事務局職員出席者

主席主査	佐藤和人
------	------

審査案件

1 報告第 5号 専決処分報告について(平成28年度大仙市一般会計補正予算(第11号))

午前10時47分 開 会

○委員長（後藤 健） おはようございます。

本日は、本会議休憩中のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

只今から、企画産業常任委員会を開会いたします。

○委員長（後藤 健） はじめに、委員席の指定を行います。

休憩前の本会議におきまして、高橋徳久議員が、企画産業常任委員会に選任することが決定されました。

高橋委員の席につきましては、議会運営先例集の規定により、ただ今ご着席の席を指定したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(後藤 健) ご異議ありませんので、高橋委員の席は、ただ今ご着席の席を指定することに決定しました。

○委員長(後藤 健) それでは、当委員会に付託された事件について、お手元に配付の日程表にしたがって、審査してまいりますので、よろしく願いいたします。

なお、発言をする際は、委員長の許可を得たあとで、マイクのスイッチを入れてからお願いいたします。

○委員長(後藤 健) はじめに、企画部長より挨拶があります。五十嵐企画部長。

○企画部長(五十嵐秀美) 改めて、おはようございます。

横を見ますと桜前線が我々の地域の方にもやっと来たのかなというところであります。その中で、今日常任委員会の方で1件のこの後審査お願いするわけなんですけれども、若干部の方の報告をさせていただきたいと思います。

先程、所信表明の中でも市長の方から29年度の施策等々の話しがされております。企画部として、所信表明を携わる課といたしまして、総合政策課の方が協議をさせていただいております。その中で、人口減少というところが大きなキーワードになっているかと思っております。そのキーワードを今後市長の方から指示を受けてる事項を若干話したいと思っております。

何はともあれ、人口減少は歯止めがかからないというところが話されておりました。ただ、国自体がそういったところでも施策を、地方創生というかたちで進めてる部分もありますので、そういったところは我々総合政策課、まちづくり課、特に男女共同参画推進室が担う部分が大きいのかなというところで、これから年度途中であっても課題の洗い出しを行い、スピーディにそれを実施するよう、十日から今日まで指示されております。我々、指示されましたけれども、今はまだ施策等々持ってないんですけれども、29年度の事業は円滑に進めるというところで、まずはとりあえずスピーディに進めろ

という指示をされておりますので、29年度事業について若干報告もさせていただきますが、年度途中であっても、人口減少、まちづくり、そういったことについては、年度途中でも施策なりを展開してまいりたいなというところが、まず大きな課題等について報告させていただきたいと思います。

それと若干、この機会をいただきましたので、課の方の内容、29年度事業を簡単に述べさせていただきたいと思います。

総合政策課の方では、ご案内のとおり、当初予算ではお話させて、説明申し上げましたけれども、コミュニティFM事業が今年度建設を行いまして、鉄塔2カ所を建設するわけなんですけれども、残り4.3%の難聴地域がまだ残ってるというところで、29年度中に残りの4.3%ないし、高機密でFM放送が届かない地域についても調査しながら防災課と一緒に協議したいなというところで、30年度にその対策をどうするのか、向けて今年度詰めてまいりたいというふうに思ってるところであります。

それと、今日の案件にもあります、まちづくり課の関係であります。

まちづくり課の案件につきましては、今年の1月に女性の地域おこし協力隊1名採用しておりますし、4月1日から男性の方が採用されております。取り組み、これから進めていくわけなんですけれども、何しろ、全国どこでも地域おこし協力隊というものを設置しながら進めておりますが、我々大仙市でできるものはなんとかして是非とも前向きに進めたいというふうに思っております。その中で、移住・定住というプログラムが入っております。今年は、移住者向けの住宅支援、そういったものも新規事業として実施していくわけなんですけれども、今4月始まったばかりで、何も申し上げることは出来ないんですけれども、それも強化図りながら進めていきたいというふうに思っております。それと所信表明の中でも申し上げておりましたけれども、地域が元気にならないというお話を何回か出てきておりますが、これは当初から、地域の魅力再発見事業進めてまいりました。29年度も引き続き行うわけなんですけれども、29年度新たに、支所の方にも話しておりますが、新しい事業、ソフト、ハード、両面を含めて出来ないかというところも今年度事業として、進めたいなというふうに思っております。

それと、人口減少によく出てくる話なんですけれども、男女共同参画室の中で、結びサポート事業を今までやってきたんですけれども、中々実績が上がらないというところで、部としてはそういった反省も踏まえております。その中で、大仙コンシェルジュという組織を新設して、今までにない取り組みをしてまいりたいなと、今までは任意団体

の方が積極的に、この活動をしてきておりますが、昨年3月に一旦解散しまして、今組織の強化を図るために募集作業を行ってまいりますが、婚活に関する全体的な組織の見直しを図りながら進めたいというふうに思っているところであります。

それと情報システム課につきましては、今マイナンバー制度で、セキュリティ対策がものすごく問われております。このマイナンバー制度に伴う、県が窓口一本となり、インターネットにかかわる部分が県の窓口一本で通さなければならないというところの、今システムを構築しております。7月までには完全移行できるように準備を進めているところなんです、まだ4月段階では、その作業を行っている途中ですので、我々職員側にとっては、たまにシステムの不具合とか、そういったものも出てきておりますので、7月の完全移行までには是非とも完璧なものにして、セキュリティ対策の強化を図ってまいりたいというふうに思っているところであります。

29年度事業、各課の主だったところを報告させていただきましたが、このあと我々、冒頭にも申し上げました、今の段階では展開する施策を申し上げる段階にはございませんが、今年1年は地方創生、並びに人口減少に対する政策、施策、そういったものを年度途中でも展開してまいりたいと思いますので、議員の皆様にはご支援とご理解をお願い申し上げ、開会にあたり一言挨拶と代えさせていただきます。

よろしく申し上げます。

○委員長（後藤 健） ありがとうございます。

それでは、議案審議に入ります。

報告第5号「専決処分報告について（平成28年度大仙市一般会計補正予算（第11号））」を議題といたします。

当局の説明を求めます。高橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（高橋正人） それでは、報告第5号の専決処分報告、平成28年度大仙市一般会計補正予算（第11号）のうち、企画部まちづくり課所管にかかる歳入及び歳出予算についてご説明申し上げます。

議案書別冊の資料No.2「大仙市補正予算（3月専決）」の13ページをご覧ください。

歳出2款1項49目90事業「ふるさと応援基金積立金」につきましては、54万円の補正であり、補正後の額は910万4千円となります。

これは、本年第1回定例会におきまして、「ふるさと応援基金」に102件の寄附金

と利子、合わせて856万4千円を積み立てる補正予算についてご承認をいただきましたが、その後、3名の方から合わせて54万円のご寄附をいただきましたので、これを同基金に積み立てるため、所要額の補正について、3月31日付けで専決処分をさせていただきます。

なお、歳入につきましては、補正予算書12ページをご覧ください。今回の積立金の財源として、17款1項5目「ふるさと応援寄附金」に同額となる54万円を計上しております。

これにより、平成28年度の本市のふるさと納税制度による寄附は、105件、合計金額は909万5千円となっております。

以上、まちづくり課所管にかかる補正予算につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（後藤 健） ありがとうございます。

説明が終了いたしましたので、これより質疑を行います。

質疑のある方は、挙手の上お願いいたします。はい、秩父委員。

○副委員長（秩父博樹） 今のところ、この105件、返礼品いらないって言う方が多いですか。それとも昨年から出した返礼品の方に傾いてきているのか、今のところの状況分かる部分おしえていただければと思います。

○委員長（後藤 健） はい、高橋課長。

○まちづくり課長（高橋正人） 返礼品の数につきましては、61件の方々が返礼品を望まれております。なので、半数以上が返礼品をもらっているといったところでございます。また、これにつきましては以前拡充しましたお酒、米の分についてでございますので、さらにほかに特産品開発コンクール入賞作品をもらった方々もおりますので、かなりの割合で品物は応募されている状況でございます。

○委員長（後藤 健） ほかに質疑のある方。はい、佐藤委員。

○4番（佐藤隆盛） 54万円の内訳は、3人だごどわがるんだけど、額的にどのような感じになってるっしか。

○委員長（後藤 健） はい、高橋課長。

○まちづくり課長（高橋正人） 1名が50万円。1名の方が3万円。1名の方が1万円というかたちでございます。

○委員長（後藤 健） ほかに質疑のある方。はい、金谷委員。

○23番（金谷道男） 105件のうち、返礼品一切いらないといった方もいるということですか。

○委員長（後藤 健） はい、高橋課長。

○まちづくり課長（高橋正人） 不要と申し出あった方が4名となっております。

○委員長（後藤 健） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（後藤 健） なければ、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（後藤 健） 討論なしと認めます。

それでは、お諮りいたします。本件につきましては、承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（後藤 健） ご異議なしと認め、本件は承認すべきものと決しました。

○委員長（後藤 健） 以上で、当委員会に審査付託となりました事件の審査は、すべて終了いたしました。

なお、本委員会の「審査報告書」及び「委員長報告」の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（後藤 健） ご異議なしと認め、そのように決しました。

これを持ちまして、企画産業常任委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午前11時02分 閉 会

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

企画産業常任委員会委員長